

初夏出荷に向くビンカ有望品種の選定および花壇定植後の開花特性（受託試験）

岡澤立夫・吉岡孝行
（生産技術科）

【要 約】初夏出荷ビンカでは、‘F₁ タイタン’シリーズが開花までの日数が比較的短く、ボリュームに富み、花が大きく開花数が多いため有望である。

【目 的】

ビンカは、夏花壇に欠かせない品目の定番であり、各種会社から新しい花色、花卉の大きさを持った品種が発売されている。そこで、春まき初夏出荷の作型によるビンカの有望品種を選定する。併せて、観賞場面での開花特性も明らかにする。

【方 法】

2005年3月9日に288穴セルトレイに播種した。4月20日、生育の進んだ品種から3.5号ポリポットに3本ずつ鉢上げを行った。鉢上げ用土は、赤土：腐葉土：ピートモス＝5：3：2（容積比）として、用土1000あたり、基肥として被覆複合肥料14-12-14（商品名：エコロング424-100）＝150g、化成肥料6-40-6（商品名：マグアンプK中粒）＝200g、過磷酸石灰＝250gを混用した。5月11日、3節を残してピンチした。追肥は、緩効性肥料10-10-10（商品名：I B化成）4～5粒／鉢を5月30日、液肥10-30-20（商品名：ハイポネックス）1,000倍液を6月21日に施用した。ポット苗は、開花株率が50%を超えた日から2週間後に10株を調査した。露地への定植は7月8日に行い、花壇定植後の開花数の調査は、7月15日からほぼ1週間おきに9月30日まで行った。

【成果の概要】

- 1) 開花株率の経時変化は、品種により大きく異なり、すべての品種が開花したのが6月25日であった。‘ジャイオ バーミリオン’は、6月12日に最も早く開花盛期（開花株率50%以上）を終えた。一方、最も遅かったのが‘ジャイオ ダークレッド’で6月18日であった（図1）。
- 2) ‘F₁ タイタン’シリーズはいずれも株張り、花が大きく、開花数も35輪以上と多かった。その中でも‘F₁ タイタン ポルカドット’が花の大きさで、‘F₁ タイタン ブラッシュ’が開花数で供試品種中最も値が高かった。また、‘F₁ ビデッセ’シリーズも比較的花が大きく開花数多く、特に‘F₁ ビデッセ ストロベリーレッド’は49輪と開花数が多かった（表1）。
- 3) 葉色は、‘サングロウ スカーレット ウィズアイ’が最も濃く、‘サンストーム バイオレット ウィズアイ、F₁ タイタン ローズ’などでは薄かった（表1）。
- 4) 花壇定植後の開花数は、‘F₁ ビデッセ ローズ’で最も多く、次いで‘サンストーム ホワイト ウィズアイ’であった（図2）。ポット苗で評価の高かった‘F₁ タイタン’シリーズでは、‘F₁ タイタン ポルカドット’と‘F₁ タイタン ブラッシュ’が比較的开花数が多く、草勢が強く揃いがよかった（データ略）。しかし、花壇定植後の開花数は出荷時のポット苗における開花特性とは大きく異なっていた（表1、図2）。
- 5) まとめ：‘F₁ タイタン’シリーズはボリュームがあり、花が大きく、開花数が多い。花の大きさ、葉色の濃さを考慮すると、‘F₁ タイタン ポルカドット’が、開花数を考慮すると、‘F₁ タイタン ローズ’が有望である。

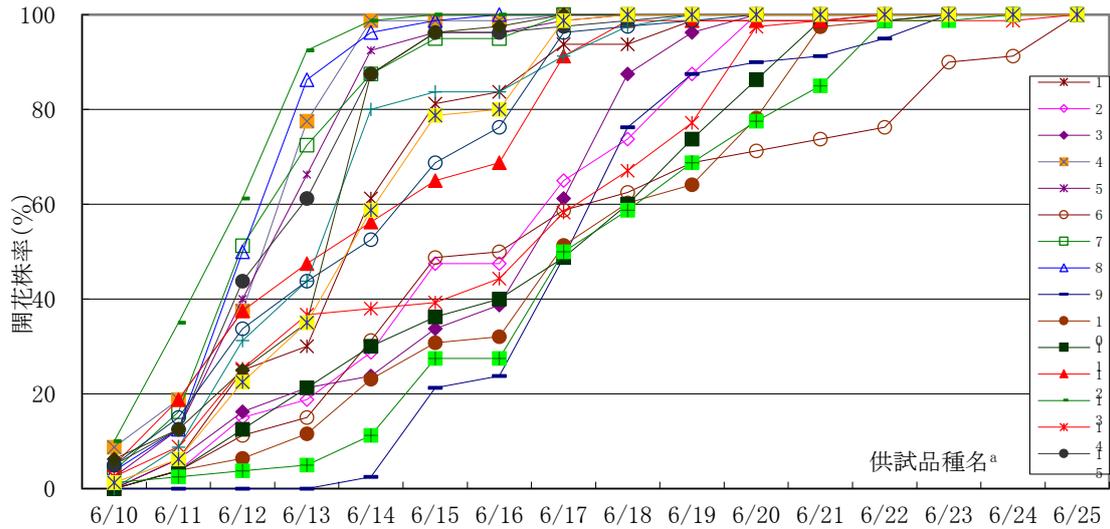


図1 開花株率の経時変化

注) 1輪が開花した時点を開花とする

a) 1 エクエイター ラベンダー, 2 ベラノ ピンクレッドアイ, 3 F1 ビデッセ ストロベリーツイスト, 4 F1 ビデッセ ローズ, 5 F1 ビデッセ ストロベリーレッド, 6 サンストーム バイオレット ウィズアイ, 7 サンストーム レッド, 8 サンストーム ホワイト ウィズアイ, 9 サングロウ スカーレット ウィズアイ, 10 ジャイオ スカイブルー, 11 ジャイオ ダークレッド, 12 ジャイオ サーモンピンクアイ, 13 ジャイオ パーミオン, 14 ジャイオ スカーレットアイ, 15 F1 タイタン ローズ, 16 F1 タイタン ボルカドット, 17 F1 タイタン ブラッシュ, 18 パシフィカ ダークレッド, 19 クーラー レッド, 20 クーラー ペパーミント
1~5:サカタ, 6~9:シンジェンタ, 10~14:東京花壇, 15~20:ミヨシ

表1 ピンカ品種の生育特性

品種名 ^a	シリーズ名	草丈 (cm)	株張り (cm)	開花数 (輪)	花の大きさ (cm)	節数 ^b (節)	茎径 ^c (mm)	葉色 ^d
1	エクエイター	18.8	32.5	40.4	5.3	7.2	3.7	45.5
2	ベラノ	17.8	30.0	30.6	4.8	7.1	3.8	50.8
3	F1ビデッセ	21.0	32.0	34.3	5.0	7.0	4.0	51.5
4	F1ビデッセ	20.7	29.7	37.3	5.0	6.5	3.5	48.3
5	F1ビデッセ	19.4	29.2	49.1	4.7	7.0	3.5	48.8
6	サンストーム	18.9	29.8	31.8	4.8	6.2	4.1	40.4
7	サンストーム	18.8	26.8	36.2	4.8	7.5	3.6	50.2
8	サンストーム	19.5	29.2	28.1	4.8	6.4	3.9	54.5
9	サングロウ	19.7	26.0	14.7	4.6	8.1	4.6	55.2
10	ジャイオ	18.7	30.2	19.9	4.8	6.6	3.8	50.0
11	ジャイオ	20.7	29.1	24.7	4.9	6.6	4.5	48.6
12	ジャイオ	19.5	29.2	28.1	4.8	6.4	3.9	54.5
13	ジャイオ	18.7	25.4	32.4	4.3	7.0	3.4	47.2
14	ジャイオ	21.4	27.8	24.9	4.6	7.7	4.3	47.8
15	F1タイタン	20.2	33.4	38.5	5.4	6.9	3.5	46.6
16	F1タイタン	18.8	31.1	36.5	5.7	7.2	4.2	52.4
17	F1タイタン	21.4	31.6	52.9	5.5	7.4	4.2	46.5
18	パシフィカ	18.7	28.5	35.2	5.3	6.0	3.7	48.9
19	クーラー	19.1	27.7	21.5	4.4	6.6	4.2	51.1
20	クーラー	21.9	29.8	33.9	5.1	7.7	4.2	51.4

注) 開花株率が50%を超えた日から2週間後に10株を調査

注2) 数字が高いものを上から3つ太字斜体で表示

a) 図1参照 b) 主茎 c) 地際部 d) ミノルタSPAD-502により測定 (SPAD値)

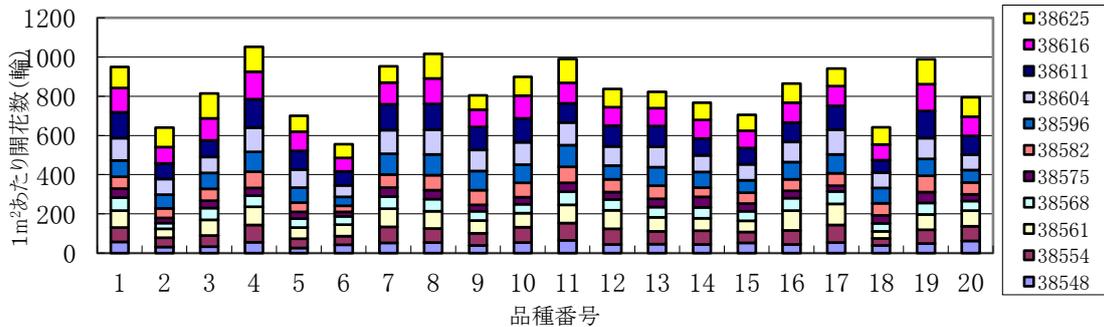


図2 露地定植後の開花数の変化